

○行政との連携のあり方

④事業展開のうえでの連携体制の構築(交付金等)

○目指す姿 《交付金で地域がより活発な状態になっている》

●施設に関すること

- 施設の長寿命化となるように、計画的な改修ができる状態。
- 施設の老朽化による不便がない状態。
- 必要な維持管理・改修が滞りなく行われている状態。

●事業に関すること

- 事業の棚卸しにより、地域に必要な事業へ必要な交付金が活用されている状態。
- 地域で決めた地域づくり計画が市の計画ともリンクし、交付金活用の効果が生まれる状態。
- 地域コミュニティ活動推進員等の業務量に応じた人件費が確保されている状態。

【対策】

- ・**施**…交付金の幾らかを積立できるようにし、施設改修費に充てられる仕組みを整備することによって、施設整備補助金による計画的な改修を行う。
- ・**●**…交付金が地域の裁量で使用できるよう地域で情報公開・合意がとれる仕組みを検討する。
- ・**●**…事業の棚卸しによる事業費の見極めと提案型補助金による新たな活動資金の確立。
- ・**交付金を充てるのに相応しい活動をととは何かを踏まえて交付金の額を決める。** など

